

<アンケート結果からみられた主な成果>

- (番号1) 確かな学力の定着をめざした授業づくり
- (番号2) 授業への意欲的なとりくみ
- (番号3) 家庭学習の定着
- (番号4) 学校における読書活動
- (番号8) 正しい言葉遣いやふわふわ言葉による他者への思いやり
- (番号10) だまって掃除
- (番号11) 縦割り班活動の取組
- (番号15) 運動週間中のとりくみ



ぼくの名前は
「うのちよる」だよ。
鶺鴒ノ島小学校は、縦割
り班活動や地域との
交流が盛んだよ！

<アンケート結果からみられた主な課題>

- (番号5) 家庭での読書習慣の形成
- (番号7) たのしい学校生活
- (番号9) あいさつ
- (番号12) 地域行事への参加
- (番号13) メディアとの関わり
- (番号17) 学校外の外遊び

<今後の取組>

- ・読書や新聞を読むことなどを通して活字に触れさせ、家庭での読書習慣をつけさせる。
- ・家庭学習がんばりカードで、読書に関する項目を入れる。(アウトメディアへの取組の中で空いた時間を読書に充てるよう勧める。)
- ・安全で楽しい学校生活を全児童が感じることができるよう努める。
- ・地域行事への参加についての質問項目を「地域行事に参加したいと思う。」に変更し、参加したかどうかではなく、意向(気持ち)を聞くようにする。
- ・学校教育目標に「ふるさとを愛し」とあるので、「鶺鴒の島地域のことがすき」という項目を追加することを検討する。
- ・「語先後礼」については、よくできている児童を全校朝礼で紹介することや、委員会のあいさつ運動でさらにあいさつの意識が高まるよう目標をもって取り組めるようにする。
- ・メディアの使い方の約束を学校・家庭で再確認する。(例4月当初、各学期前に)
- ・早寝・早起き・朝ごはんのアンケートを別々に行うことでそれぞれの状況がより詳しくわかるようにする。
- ・運動週間の取り組みなどを家庭にお知らせすることで、子どもの健康維持・増進を図る。
- ・授業で学習した内容を定着させる。→朝学や家庭学習で復習場面をつくとともに、授業改善をすすめ、自分で考えて学習に取り組む力をつけていくことをめざす。